

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハビ－西船橋教室		
○保護者評価実施期間	2025年7月25日		2025年8月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 27
○従業者評価実施期間	2025年7月25日		2025年7月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 8 月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者からの相談依頼の多さと聞き取りの深さ	保護者の相談には多忙な時期でも、依頼があった際には時間を割きスケジュールを組んでいる。また療育からの卒業についても保護者と話をしながら双方納得が出来るよう話し合いを繰り返し行っている。	今後も引き続き相談しやすい教室の環境設定を行っていく。また、指導員のフィードバックなども取り組んでいけるようにする。
2	支援への対応力・安定力	支援の担当はつけてはいないがどんな状況か把握できるように朝終礼で確認をしている。支援配置なども気を付けており取り組む姿勢が見られている。	ケース会議や共有する時間を少しでも多くとれるよう指導員の時間の使い方を見直し利用者の情報共有が出来るよう教室運営を行っていく。
3	関係機関との連携の濃さ	小学校・幼稚園など関係機関との連携を密に行えるよう、日々の支援から聞き取りし、連携に必要である保護者へ話を進めている。	今後も引き続き関係機関との連携を図れるよう支援の聞き取りを行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	教室内外の環境設定	教室内の部屋の広さの問題もあるが、引越したりリフォームすることは困難である。 教室外の階段などもビル会社の所有物であるがゆえに手すりなどで手を加える事が難しいが、エレベーターは設置している環境化ではある。	現状で出来る環境設定の限界を行っていき、必要であれば修繕を行っていく。
2	保護者同士の交流	児童同士の交流などはあるが保護者同士の交流する機会は少ない。	保護者会という形にとらわれずイベント内の関わり、動画支援などで一緒に勉強してもらうなどの保護者の交流の機会を提供していく。
3	児童を含めた他機関との交流	園の先生など来所が増えてはいるが全体での取り組みとしては薄い。	安全性を配慮した上で児童の関係機関と連携し、連携先の来所の機会を増やしていく。